

# 第20回 基盤教育 ワークショップ

学士課程教育におけるFDが義務化された現在、大学教育の質の向上が以前にも増して求められています。本ワークショップは、大学教育の発展を目的とし、相互研鑽の理念の下、本学の教職員および「FDネットワーク“つばさ”」を始めとした学外からの参加者と一緒に議論を深めていきます。

平成30年

## 9月14日(金)

時間 10:00 ~ 16:30

場所 山形大学小白川キャンパス 基盤教育1(A1)  
(山形市小白川町1丁目4-12)

9:00

受付

10:00

開会

司会・挨拶

山形大学教育開発連携支援センター長 小田隆治

10:10

【第1部】基調講演(90分)

### 演題 「インストラクショナルデザイン(ID)に基づく授業設計と授業運営」

講師

神奈川工科大学

教育開発センター 教授

## 伊藤 勝久氏



11:40

質疑応答

12:00

昼食・休憩

13:30

【第2部】ラウンドテーブル(180分)

#### 第1分科会

#### 「IR、授業アンケートなどデータ活用について」



コーディネーター

山形大学 学術研究院

理学部

教授 栗山 恭直

パネリスト

株式会社リアセック

代表取締役 CEO

松村 直樹

山形大学 学術研究院

グローバル・ネット外部 教授

藤原 宏司

#### 第2分科会

#### 「学生の主体的学びを促す地域体験型科目について」



コーディネーター

山形大学 学術研究院

学士課程基盤教育機構

准教授 橋爪 孝夫

パネリスト

山形大学 学術研究院

地域教育文化学部 准教授

滝澤 匡

山形大学 学術研究院

学士課程基盤教育機構 講師

阿部 宇洋

#### 第3分科会

#### 「新任教員向けキャリア教育科目の授業運営法について」



コーディネーター

山形大学 学術研究院

学士課程基盤教育機構

准教授 松坂 暢浩

パネリスト

山形大学 学術研究院

理学部 教授

小倉 泰憲

山形大学 学術研究院

学士課程基盤教育機構 准教授

山本 美奈子

16:30



## 基調講演内容

## 演題 「インストラクショナルデザイン (ID) に基づく授業設計と授業運営」

講師 神奈川工科大学 教育開発センター 教授 伊藤 勝久 氏

インストラクショナルデザイン (ID) は、学習の効率と効果、魅力を高めることを目指す教育学の一専門分野です。その歴史は比較的新しく、アメリカにおいて、第二次世界大戦のもとの軍の短期間大量教育の要求に応じることから発し、教育学の認知主義的教授・学習観へのパラダイム転換に対応しつつ実用的に発展しました。それゆえ、学習への働きかけにおいては、具体的に構築される「到達目標」、それと表裏一体的に構築される観察可能な「評価」、そしてそれらを踏まえて構築される「教授内容・方法」の三者の調整を重視します。当日は、皆さんにIDの概要を紹介するとともに、数あるIDの理論・モデルの中から、授業設計と授業運営のために役立つ実用的なものを選び、皆さんとともに授業改善のための方策を考えていきたいと思ひます。

【経歴】 ビッツバーグ大学助教、興國管理学院 (台湾) 助教授、苫小牧駒澤大学教授・教育サポートセンター長を経て、神奈川工科大学教育開発センター教授、全学FD担当、日本高等教育開発協会正会員、山形大学教育開発連携支援センター協カスタッフ

【活動】 学生の自己効力感を醸成し、学生が自律性と協働性を養いながら生涯に亘り持続的に学習していける者になれるよう支援すること、そのためのFD活動の開発と授業 (クラス・コース)・カリキュラム等の教育課程開発をテーマとする。

## ラウンドテーブル概要

## 第1分科会 「IR、授業アンケートなどデータ活用について」

コーディネーター 山形大学 学術研究院 理学部 教授 栗山 恭直

今回、IRについて基本的な内容から説明していただき、何がわかるのか説明していただき、理解を深めたいと思ひます。基盤教育等での授業アンケートはどのように活用されて、何がわかるのでしょうか。

また、ジェネリックスキル (社会人基礎力) を計るプログラムを提供しているリアセックの方に最新の情報を提供いただき、IRや授業評価アンケート成績の可視化などについて情報交換をしたいと思ひます。

## 第2分科会 「学生の主体的学びを促す地域体験型科目について」

コーディネーター 山形大学 学術研究院 学士課程基盤教育機構 准教授 橋爪 孝夫

山形大学では地域との組織的連携により学生の主体的学びを促す地域体験型科目への取組を進めてきました。近年では教員が個別に地域と連携する授業も実施され始めています。

本分科会では異なる成り立ちを持つ二つの科目を紹介し、その目的、授業運営、評価法などを手掛かりに地域体験型科目における学生の成長について考えます。

## 第3分科会 「新任教員向けキャリア教育科目の授業運営法について」

コーディネーター 山形大学 学術研究院 学士課程基盤教育機構 准教授 松坂 暢浩

情報化、グローバル化、少子化、産業・職業界の構造的変革など大きな社会環境の変化や大学生のキャリア発達上の様々な課題の観点からキャリア教育の必要性が強く求められています。これまでの大学においてキャリア教育の推進が図られてきていますが、その教育を担う教員の養成や内容・水準の統一化に向けた整備が長年問題にもなっています。

本分科会では、新たにキャリア教育科目を担当する新任の先生向けに、本学でどのような取組みを行ったかについて報告いたします。具体的には、どのようなプロセスで準備したか、また今年度から担当された先生の生の声を紹介しつつ、複数の教員が担当する場合のキャリア教育に必要なことは何かについて参加者と併に議論していきます。

氏名・所属・職名・電話番号、E-mail アドレスを明記し、以下のいずれかの方法でお申し込みください。

参加申込方法 FAX 023-628-4720  
E-mail k3cen@jm.kj.yamagata-u.ac.jp 申込締切り 8月24日 (金)

お問合せ先

山形大学小白川キャンパス事務部教務課教育企画担当 〒990-8560 山形市小白川町1-4-12

TEL/FAX. 023-628-4720 E-mail. k3cen@jm.kj.yamagata-u.ac.jp <http://www.yamagata-u.ac.jp/gakumu/kaizen/ksite/>

氏名		TEL	
所属・職名			
E-mail			
参加希望分科会	第1分科会・第2分科会・第3分科会		※参加希望の分科会に○をつけてください。